



ぜんりん通信

～皆様と幼稚園を結ぶ情報紙～

2010年 秋の号
(不定期刊行)

石岡善隣幼稚園

〒315-0014
茨城県石岡市国府 4-3-3
TEL 0299-22-2739
FAX 0299-22-2739

ホームページ <http://www.zenrin-youtien.org/>
E-mail zenrin@rice.ocn.ne.jp



全面リフォームした園舎

地域に開かれた

幼稚園を目指して

石岡善隣幼稚園
園長 今泉文彦

石岡善隣幼稚園を卒業された皆様は、すでに学校や社会で存分に活躍されていることと思います。地域社会や家庭の中でも、欠かせない存在となり、忙しい日々をお過ごしのことでしょう。

慌ただしい日常の中で、ふと幼稚園時代を思い出すひとときがあるのではないのでしょうか。

まっかなポッケのエプロン、優しかった先生や気のあう友達の色、ブランコとジャングルジムのある園庭など。幼かったころの思い出は、パステルカラーに彩られています。

私たちの石岡善隣幼稚園は、あと数年で創立百周年を迎えます。大正七年に創立した当園は、県内でも有数の歴史を持つ私立幼稚園です。卒園児の総数は3400名に及び、その多くが様々な分野で活躍しています。

昭和62年に建てられた園舎は、このほど全面リフォームし新しいイメージの幼稚園に生まれ変わりました。

本年4月からは、幼児コーラス「ぜんりんクラブ」を結成し、豊かな心と表現力を磨いています。園児が心を一つにして歌の世界に遊び、やがて幼稚園の特色として育っていくことを願っています。

そのほかにも、新しい時代にふさわしい幼稚園を目指し、いくつものチャレンジを行っています。

私たちの石岡善隣幼稚園がこれからも誇れる学び舎であるよう、教職員一丸となって努力してまいります。ぜんりん通信は皆様と幼稚園とを結ぶ情報紙です。これからも不定期ながら発行する予定です。ご愛読のほどよろしくお願いたします。どうか皆様には、これまでに倍するご指導ご協力をお願いし申し上げます。

教育環境を刷新

幼児コーラスと英会話を強化

創立93年となった石岡善隣幼稚園は、園舎を全面リフォームし、園庭や駐車場も刷新しました。

新しくなった幼稚園は、教育カリキュラムに幼児コーラスと英会話を加え、これからの時代を見越した人づくりに心を注いでいます。

地域に開かれた幼稚園を目指し、園舎開放プロジェクトも進んでいます。

7月には、2階ホールでシンガーソングライターの大島花子さん(坂本九ちゃんの長女)を招きライブコンサートを行いました。

会場は140名の聴衆で超満員。気さくな花子さんは園児たちと歌ったり踊ったりで、ライブは大いに盛り上がりました。



ライブコンサートの後、大島花子さんを囲んで

アンコールでは亡き父の「見上げてごらん夜の星を」を歌い、大人たちは目頭を熱くして聴き入っていました。

ライブの冒頭では、17年間石岡駅に通い続けた犬のコロと飼い主のこっちゃん

の紙芝居が初公開され、そのあと園児たちのコーラスで園歌「まっかなポッケ」が披露されました。

ハート形のポッケのついた白いエプロンは、この日復活しコーラスのユニフォームとなりました。



このエピソードに登壇する犬のコロは、東小学校で飼われていたタローのことです。昨年になって飼い主が判明し、当時玉造から鹿島鉄道で善隣幼稚園へ通っていた女の子であることが分かりました。昭和39年、列車に乗ってしまったコロは、石岡駅で降りそこ



マリさんの楽しい英会話教室

で女の子とはぐれてしまったので

このエピソードを知った大島花子さんは、いたく感動し園児にコロの歌をつくることを約束しました。

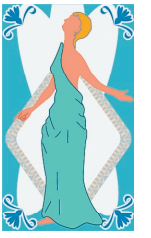
「ここで君を待ってるよ」がその歌で、8月末に完成し幼稚園に楽譜とデモCDが送られてきました。歌いやすい美しいメロディで、飼い主の女の子を待ち続けるコロのけなげな気持ちが、優しく歌われています。

この歌を、11月3日の市合唱祭に向けて、園児たちは毎日練習しています。

※

英会話は、週2回フィリピン出身のマリさんが教えています。踊りや歌をまじえての楽しいレッスンは、園児たちは目を輝かせて楽しんでいきます。

石岡善隣幼稚園の歩み



大正6年5月 創立者原口精一夫妻が、香丸町の石岡礼拝教会（信用組合内）に赴任。

大正6年11月 原口友子先生、近所の5名の幼児を相手に沖繩産



金丸町時代の園舎



大正10年5名の第3回卒業生

の柵せんだんの木机を用いて幼稚園を開始。

大正7年5月16日 香丸町に幼稚園を開設し、石岡善隣幼稚園と命名、認可を受ける。

大正8年3月 第1回卒業式で3名の卒園児を送り出す。

昭和4年5月 原口夫妻は老後年金を元手に金丸町の土地を探し、香丸町から金丸町へ新築移転。



まっかなポッケのエプロンがシンボルでした



新築3年後の卒園式

引越しは荷馬車を使い、小さな腰掛は幼児が手に持って引越した。

昭和14年5月18日 創立者原口友子先生が永眠。幼稚園葬を行う。

昭和14年6月1日 故原口友子先生の後任

として、奥山リウ先生が就任。昭和20年1月15日 原口精一園長が永眠。戦時中につき、密葬を行う。

昭和20年2月 園長後任として、友井梢先生が就任。

昭和22年10月 母の会関口会長の時、幹事会の発案で増築運動が始まり、10坪増築した。

昭和29年10月 金丸町から富田東（現在地）へ新築移転
昭和44年12月24日 矢口芳正理事長ほか12名の有力者の寄付により、善隣学園を設立。

昭和45年1月23日



ピーク時には、90人を超える卒園児がいました

「学校法人 善隣学園」の認可を得る。

昭和61年4月 来栖静江氏が、理事長に就任。

昭和62年3月 学校法人善隣学園 石岡善隣幼稚園の新園舎が完成。平成20年11月25日 小貫敬雄園長が、理事長に就任。平成22年4月1日 島田昭理事が、理事長に就任。



歴代理事長

- 第1代 矢口芳正
- 第2代 根崎光一
- 第3代 友井篤
- 第4代 山本吉蔵
- 第5代 友井篤
- 第6代 来栖静江
- 第7代 小貫敬雄
- 第8代 島田昭

歴代園長

- 第1代 原口精一
- 第2代 友井梢
- 第3代 奥山リウ
- 第4代 土田寿子
- 第5代 三輪達夫
- 第6代 小貫敬雄
- 第7代 今泉文彦



お知らせ

◇ぜんりん写真展
93年の歩みを振り返る



とき 11月4日（木）～13日（土）
/ 県民の日）午前9時～午後5時まで

ところ 石岡善隣幼稚園ホール
展示 大正7年の創立時から現在までの幼稚園の貴重な秘蔵写真を公開。
あわせて、園に伝わる絵画や看板、園日誌なども展示します。

（入場無料）

◇ぜんりん幼児教育講演会

「親の気持ち子どもの気持ち」
とき 11月6日（土）13時30分～
ところ 石岡善隣幼稚園ホール
講師 茨城大学人文学部 講師 渋谷敦司 教授

現在子育て真っ最中の渋谷先生の苦労話や育児エピソードを通して、幼児教育を考える楽しい時間です。

（入場無料）

◇石岡善隣幼稚園 園児募集

兄弟優遇・完全給食
年少児からの英会話・コーラス指導

紹介者には、入園決定時に記念品をプレゼントいたします。
入園を希望される方をご紹介ください。